

## 第29期第15回常任理事会議事録

日 時：1998年2月17日（火）13時35分～17時50分

場 所：気象庁内気象学会事務局

出席者：松野、関口、二宮、藤部、村松、木田、城尾、  
竹村、永田、以上9名

その他の出席：事務局（館）

### 議 事

#### 1. 第29期第14回常任理事会議事録の確認

#### 2. 各委員会報告

庶務…平成7年度複写使用料の分配の通知 学協会  
著作権協議会より 1月16日

##### ・会費請求の発送

団体会員・特別会員 11月14日

書店等 1月20日

・1998年度春季大会委員長就任依頼 気象庁予  
報部瀧川雄社会員宛 1月21日

・「堀内賞」メダル作成のための見積り（第14回  
常任理事会議事録関連） 1月22日

・国際学術研究集会への出席補助金の支給

柴垣佳明（大阪電気通信大学） 11月13日

尾崎尚則（北海道大学博士課程） 1月27日

・地理関連学会連合発足準備会開催のお知らせ  
と参加要請 2月3日

構成員とはならず、協力団体として関わるこ  
とで回答することになった。

・電子図書館サービスの著作権使用料金設定に  
関する協議の申し入れ 2月4日

学術情報センターより、当サービスが1998年  
4月より有料化されるのに関連して申し入れ  
があった。個人会員と団体会員、および会員  
と非会員の区別の付け方等に付き電子情報委  
員会で考え方をまとめ、次の理事会で当学会  
の考えを決定することになった。

・資料受領 文部省学術国際局学術情報課より  
2月4日

(1)学術審議会「情報学研究の推進方策につ  
いて」（建議）

(2)「学術情報データベースの整備について」  
（報告）

・「1997年度事業報告及び1998年度事業計画案」  
報告依頼 各支部宛 2月4日

・「第45回風に関するシンポジウム幹事学会」の

依頼 2月10日

担当すべき業務内容を確認し、藤部理事が対  
応の方向で検討することになった。

・文部省学術国際局情報課からの調査依頼 2  
月10日

会報等出版物、年間予算額、政府の補助金の  
使用状況等に関する調査。

締め切り 2月20日

・日本気象学会名誉会員への推薦に関する確認  
の通知 候補者宛 2月20日

・寄贈

(1)「第5回水資源に関するシンポジウム」論  
文集

(2)「エルニーニョと台風の神秘」 藤田哲也  
名誉会員より、2,000部

後者については、会員に「天気」で希望（送  
料自己負担）を募ると共に、学会大会でも  
希望者に配付することになった。

会計…1998年1月の収支報告と本年度収支の見通し

・山一証券の自主廃業に伴う学会財産の取り扱  
い

学会資産の一部を山一証券の公社債投信に預  
けていたが、山一投資信託委託が引き継ぐこ  
とになり、預け入れを継続することで了承さ  
れた。

天気…Vol. 45 No. 2（1998年2月号）掲載記事と、  
Vol. 45 No. 3～4 掲載予定記事の紹介。

気象集誌…ISI (Institute for Scientific Informa-  
tion) への気象集誌掲載論文の提供

ISIは、学術論文の引用状況を国際的に調査  
し、その結果を流通させていることから、気  
象集誌の論文を提供している。これを電子出  
版することの可否につき照会があった旨担当  
理事から報告があり、常任理事会として承認  
した。

気象研究ノート…1997年度の編集作業の進捗状況  
（190号以降）の紹介

本年度内に192号まで入稿が完了し、印刷の手  
はずとなる見込み。

教育と普及…「新教養の気象学」の印税・編集料の  
取り扱い

第1刷発行分または初めの3,000部数の多い方の印税を執筆者に支払い、以後は学会の収入とする方向で、委員会に諮ることになった。奨励金…奨励金制度の見直し（第14回常任理事会議事録参照）

「奨励金」を「奨励賞」とすることで、関係する細則、選定規定の変更案が担当委員会から提案され、常任理事会として承認し、3月の理事会に諮ることになった。

### 3. 会員加入状況

新入会員10名を承認、退会22名の報告。会員数4,570名（内、通常会員4,047名）。

### 4. 第30期役員選挙の立候補状況

選挙管理委員会より、1月29日付で立候補受付を締め切った第30期役員選挙の立候補状況に関し、2月10日付で報告があった。投票は3月9日で締め切り、3月10日に開票する予定。

なお、選挙に関する情報は学会ホームページに掲載中。

### 5. 1998年度事業計画案・予算案

事業計画・予算案は、基本的に従来のものを継承する。

なお、1998年度予算は、会員名簿の発行、堀内賞・奨励賞のメダル作成、1999年秋の九州大会の会場費の前払い等のため、一時的に赤字となる見込み。

### 6. 学会会員のためのアンケート調査

名簿作成の可否に関するアンケートおよび会員住所等の調査事項に関する案について検討し、この結果を次の理事会に諮ることになった。

### 7. その他

#### ・第30期役員体制に関する協議

次回理事会の開催される3月19日の午前中に第30期役員選挙当選者が集まり、次期役員体制について協議する。

### 8. 次回の理事会

平成10年3月19日（木）14時から、気象庁内観測部会議室で開催。



## 平成10年度日本生命財団研究助成応募要領

**基本テーマ：**人間活動と環境保全との調和に関する研究—自然と人間の共生への新しい道を求めて—

### 助成対象研究：

1. 一般研究助成：人間活動と環境保全との関係（人間と自然環境の共存）に関する研究、平成10年10月から1年間、総額8千万円程度
2. 特別研究助成：里地・里山などの二次的自然環境とその維持・保全に関する学際的共同研究、平成10年10月から2年間、1件のみ、2千万円以内

### 応募申請書の請求：

所属機関（大学・学部等）の名称・送付先（大学名等のあて名も記入）・役職・氏名を記入の上、郵

送用切手（用紙1部の場合は160円、2部は270円、3～4部は390円；急ぎの場合は速達料として+270円）を同封してご請求下さい。例年応募の多い大学には一定数の申請書を送付しておりますので、大学事務室にてご照会下さい。

### 応募・問い合わせ先（申請書の請求先）

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7  
日本生命今橋ビル4F  
日本生命財団研究助成部  
TEL：06-204-4012  
FAX：06-204-0120

応募締切：平成10年5月12日（火）消印有効